

2020/3 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
3月30日	2020/4/30(木) 23:59締切	Web申請	第20回一般財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞候補者推 薦・応募	【問い合わせ先】 一般財団法人 材料科学技術振 興財団 山崎貞一賞事務局 〒157-0067 東京都世田谷区喜多見1-18-6 TEL:03-3415-2200 FAX:03- 3415-5987 Email: prize@mst.or.jp https://www.mst.or.jp/Portals/0/ prize/index.html	第20回は「材料」「半導体およびAI・システ ム・ソフトウェア」の2分野を対象とする。	日本国内における研究開発において、 論文の発表、特許の取得、方法・技術 の開発等を通じて実用化につながる優 れた創造的業績を上げている方(複数 人可、総計三名以内) 自薦・他薦を問わない。	受賞者全員に賞 状、各分野に対し 賞金300万円を贈 呈	記載なし
3月30日	2020年4月1日～ 2020年5月31日 必着	Eメール または 郵送	公益財団法人鉄鋼環 境基金 2020年度環境助成 研究募集 ①一般研究助成 ②若手研究助成	公益財団法人鉄鋼環境基金 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目 2番10号 鉄鋼会館6F 専務理事・事務局長 小川雄司 TEL:03-5652-5144 FAX:03-5641-2444 Email: sept.senmu@sept.or.jp URL: http://www.sept.or.jp/	鉄鋼製造に関連する環境保全技術課題に 関する研究を助成対象とする。 (詳細は募集要項を参照のこと) 環境技術に直結しない材料開発・装置開 発等の研究は助成の対象としない。 ただし、若手研究助成については、より基 礎的な研究、より広義の環境研究につい ても助成対象とする。	①原則として、日本国内にある組織(大 学・企業等の法人又は実体のある任意 団体、 以下同)に所属する研究者 ②日本国内にある組織に所属する研究 者で、2020年4月1日時点において、 次の いずれかに該当する者が主体的に研究 を行う研究代表者(申請者)であること 1]満年齢 39歳(2年計画で申請する 場合は38歳)以下の者 2]博士号取得後8年未満(2年計画で 申請する場合は7年未満)の者 ただし、大学院生等の学生でないこと	①:1件当たり 1,500千円/年以 下 ②:1件当たり 1,000千円/年以 下	原則として、 2020年10月～ 2021年10月ま での1年間
3月30日	2020年4月1日～ 2020年4月23日 17:00厳守	Eメール	公益財団法人クリ タ水・環境科学振興財 団 2020年度研究助成 プログラム	公益財団法人 クリタ水・環境科学振興財団 〒164-0001 東京都中野区中野 4-10-1 中野セントラルパークイースト(栗 田工業株式会社内) TEL:03-6743-6796 Email: f-kurita@kwef.or.jp http://www.kwef.or.jp/	・自然科学・技術(1) ・自然科学・技術(2) ・人文・社会科学 ・萌芽的研究 ・特別テーマ(「水を究める」研究)	・日本国内の大学、高等専門学校、そ の他研究機関(民間団体・企業を除く) に所属する研究者(助成期間中に民 間団体・企業に異動・就職予定の方、長 期休暇所得予定の方は対象外) ・原則として45歳以下であること ・助成金の管理および経理事務を申請 者の所属機関が行なえること(申請者 個人あるいは研究室の口座への振込 みは不可)	50万円～100万 円/件	2020年10月1日 ～2021年9月30 日の1年間
3月30日	2020年5月7日 9:30～ 2020年5月8日 18:00	Web申請	文部科学省高等教 育局 日本学術振興会 令和2年度大学教育 再生戦略推進費 「大学の世界展開力 強化事業」の公募に ついて	〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 文部科学省高等教育局企画課国 際企画室調整係 TEL:03-5253-4111(内線3352) FAX:03-6734-3385 <a href="https://www.isps.go.jp/i-
tenkairyoku/download.html">https://www.isps.go.jp/i- tenkairyoku/download.html	【タイプA:交流推進プログラム】 ※主たる交流先はアフリカ諸国 ①スタートアップ型 アフリカ諸国との大学間交流を新たに開 始する予定または開始したばかりのプログ ラム ②加速・進展型 すでに実施している大学間交流の取組をさ らに進展させ、先導的教育研究プログラム を構築するもの 【タイプB:交流推進・プラットフォーム構築 プログラム】 上記の交流を実施しながら、交流推進のプ ラットフォームを構築するもの。 自ら大学間交流を実施するとともに、プ ラットフォーム事務局として対応する。 アフリカ諸国の大学、関係機関・団体との ネットワーキングを行い、我が国の大学全 体におけるアフリカ諸国との大学間交流が 一層促進されるもの。	対象機関:日本国内の国公立大学 (国内の大学が複数連携して実施する 取組の場合には、首都となる1つの大 学が代表して申請)	タイプA ①年間1,300万円 ②年間2,000万円 タイプB 年間5,000万円	最大5年間
3月30日	①2020年4月1日 ～6月26日24時 ②2020年4月1日 ～6月5日24時	Web申請	公益財団法人ロッテ 財団 第8回(2021年度)研 究助成事業 ①研究者育成助成 <ロッテ重光学術賞 > ②奨励研究助成(A)・ (B)	公益財団法人ロッテ財団 〒163-1413 東京都新宿区西新宿3-20-2 TEL:03-5388-5564(代) FAX:03-6276-5652 Email: zaidan.lotte@lotte-hd.co.jp ※問い合わせはメールのみ受付、 研究助成担当あて <a href="http://www.lotte-
isf.or.jp/method.html">http://www.lotte- isf.or.jp/method.html	「食と健康」に関する研究において、下記の 分野を助成対象とする。 1)食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃 棄に関わる技術 2)食品のマーケティング 3)食文化 4)嗜好性(おいしさ・味覚) 5)栄養・機能性 6)食品安全・衛生 7)その他分野横断的領域 8)食の未来 9)情報科学の食・健康への活用	①本年4月1日時点で原則40歳以下の 博士号取得者。 育成支援教員の推薦が得られ、かつ育 成支援教員の下で安定した研究の場を 確保できる方。 ②40歳以下で、国内の大学等研究機 関に所属の研究者	①1,500万/年 ②A:上限300万 B:上限100万	①最長5年間 ②A:1～3年 B:1年

2020/3 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
3月17日	2020年6月30日	Web申請	一般財団法人化学及 血清療法研究所 ①2020年度『化血研 研究助成』 ②2020年度『化血研 若手研究奨励助成』	一般財団法人化学及血清療法研 究所 〒860-0806 熊本県熊本市中央区 花畑町 4-7 朝日新聞第一生命ビ ル 11 階 電話:096-297-2152 FAX:096-300-3156 E-mail:iosei@kaketsuken.org https://www.kaketsuken.org/josei.html	①感染症領域(人獣含む)及び血液領域 の基礎的研究において、先端的・独創的に 取り組んでいる研究者等が対象。 年齢制限はありません。 ②感染症領域(人獣含む)及び血液領域 の基礎的研究において、独立した研究課 題(研究テーマ)を持った将来有望な若手 研究者を対象とする。(申請締切日2020年 6月末日時点で満45歳未満の者が対象)。	①感染症領域(人獣含む)及び血液領域の 基礎的研究において先端的・独創的に 取り組んでいる、日本の大学または公的研究 機関等に所属する研究者個人、研 究チーム・団体とする(研究チーム・団体の 場合は主たる研究者が申請すること)。 ・海外で行う研究は対象外とする。 ・大学、大学院の学生ならびに営利法人に 所属している者は除く。 ・申請は各研究機関の研究室から1件と する。同一研究室から複数の申請はでき ない。複数の申請があった場合には先着申 請を優先的に受け付ける。 ・申請者(チームの場合は主たる研究者)は 『化血研若手研究奨励助成』と重複 して申請することはできない。 ②感染症領域(人獣含む)及び血液領域の 基礎的研究において先端的・独創的に 取り組み、独立した研究課題(研究テーマ) を持った、日本の大学または公的研究機関 等に所属する若手研究者。 ・申請締切日(2020年6月末日)時点で満 45歳未満の者。 ・海外で行う研究は対象外とする。 ・大学、大学院の学生ならびに営利法人に 所属している者は除く。 ・『化血研研究助成』と重複して申請する ことはできない。	①3,000万円 (1,000万円/年× 3年間)/件 ②年間300万円/ 件	①原則3年間 ②1年間
3月17日	2020年5月22日 (金)必着 (書留等記録の残 るもので発送)	郵送	独立行政法人農畜産 業振興機構 令和2年度畜産関係 研究委託調査研究課 題の公募	〒106-8635 東京都港区麻布 台2-2-1 麻布台ビル 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部(担当:北村) 電話:03-3583-4398 FAX:03-3584-1246 https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_001046.html	1.対象畜種は、牛・豚・鶏とする。 2.研究課題 新たな酪肉近に対応した取り組み (1)生産基盤の強化に関する情報 海外市場を含め、拡大が見込まれる需要 にこえるための生産基盤強化、次世代に 継承できる生産基盤の創造を目指す取 組み。 (ICT、IoT、AI等新技術の実装、地域連携 による労働力不足や規模拡大、国産資料 基盤の強化に対する取り組み) (2)持続的な発展に関する情報 持続的な経営の実現と畜産への信頼・理 解醸成に資する情報。 (災害に強い畜産経営の確立や家畜衛生 対策の強化に対する取り組み、持続的な 経営の実現と畜産への信頼・理解醸成の ための情報) (3)(1)、(2)以外の畜産経営の安定等に 有益な畜産の動向に関する調査	(1)大学、都道府県の試験場、その他 の研究・教育・指導機関に所属する者 であること。 (2)「競争参加資格審査等事務取扱要 領」(平成15年10月1日付け15農畜機第 154-4 号)第6条及び第7条に該当しない者で あること。 (3)審査時において、令和1・2・3年度 の全庁統一資格における業種区分 「調査・ 研究」又は、令和1・2・3年度独立行政 法人農畜産業振興機構随意契約登録 者名 簿における業種区分「調査・研究」に登 録された者であること。	、原則として1件 当たり150万円 (消費税及び地方 消費税相当額を 含む。)を限度と する。	履行期限は令 和3年3月22日 (月)とし、同日 までに調査研究 報告書の「詳細 版」及び「要約 版」(以下「報告 書等」という。)を 作成し、紙媒体 及び電子媒体で 提出。
3月17日	2020年4月30日 (木)24時まで	Web申請	【リバネス研究費】 池田理化再生医療研 究奨励賞	リバネス研究費 https://r.lne.st/grants/	幹細胞およびその他の細胞を用いたヒト臨 床を伴わない研究を対象とする。 具体的には、再生医療の基盤を構築する 上で必要な研究(分子細胞生物学、細胞 生物学、発生工学、組織工学、材料工学 等)、創薬技術への利用等の応用研究の 他、ここにはない新規のアイデアも対象と する。	大学・研究機関に所属する40歳以下の 研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれ ば、学部生からでも申請可能	・本賞:50万円 ・奨励賞:30万円 ・HPL賞:Sexton Biotechnologies社 Stemulate(試験 用グレード)を 100mL-200mL (7-15万円相当) を支給予定。	記載なし
3月17日	2020年4月1日 (水)~2020年8 月31日(月)必着	郵送	公益社団法人日本愛 玩動物協会 家庭動物の適正飼養 管理に関する調査研 究助成	公益社団法人日本愛玩動物協会 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 8-1 tel.03-3355-7855 (祝祭日を除く平日 9時30分-17時 30分) fax.03-3355-7880 https://www.jpca.or.jp/investigation/	家庭動物(犬、猫、小鳥、小動物などで広く 一般的に飼われているもの)の適正飼養 管理に関する調査または研究に限る。 ※家庭動物の適正飼養管理に、直接的・ 将来的に結びつくものであることが助成の 条件となる。※営利目的、他の機関からの 委託研究や研究助成の重複、実質的に完 了している研究は除く。 調査研究分野 (1)動物の健康と安全、習性、生理生態 (2)マナー、しつけ (3)公衆衛生(迷惑防止を含む) (4)所有者明示(5)繁殖、繁殖制限 (6)動物観、歴史 (7)法令 (8)その他 ※単年度で成果報告ができる調査研究を 対象とする。	資格、所属、年令等の制限はなし。 上記調査研究分野で調査研究歴を有 する者とします。申請書に下記事項を 記載すること。 ・最終学歴 ・関連する研究歴 ・既発表論文(掲載誌名、論文名) ・共同研究者名 ・所属学会名等	総額約400万円(1) 1件100万円以下 数件、(2)1件30~ 50万円程度数件	1年間(2021年4 月~2022年3 月)

2020/3 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
3月17日	①②③2020年7月1日9時～7月31日(締切:7月31日12時) ④2020年6月1日9時～7月31日(締切:7月31日12時) ⑤郵送にて2020年3月23日9時～4月21日12時必着	①②③④Web申請 ⑤メール送信	公益財団法人発酵研究所 ①2021年度一般研究助成・大型研究助成 ②2021年度若手研究者助成 ③2021年度学会・研究部会助成 ④2021年度寄付講座助成 ⑤2020年度研究者招聘・留学助成	公益財団法人発酵研究所事務局 〒532-8686 大阪市淀川区十三本町2丁目17番85号 TEL:06-6300-6555 FAX:06-6300-6814 e-mail:iimukvoku@ifo.or.jp http://www.ifo.or.jp/research/info.html	①【研究課題】 ・微生物の分類に関する研究 分離、分類、保存 ・微生物の基礎研究 生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など ・微生物の応用研究 発酵、生理活性物質、プロバイオティクス、環境保全、バイオエネルギーなど ②【研究課題】 ・微生物の分類に関する研究 分離、分類、保存 ・微生物の基礎研究 生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など ③【研究課題】 ・微生物の分類に関する研究 分離、分類、保存 ④【研究課題】 ・微生物の基礎研究 生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など ⑤【研究課題】 ・微生物の分類に関する研究 分離、分類、保存 ・微生物の基礎研究 生化学、構造、遺伝、生理、生態、進化など	①【一般】 ・日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人 ・助成期間内に、本申請に関する研究で他から年間500万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く。 【大型】 ・日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行っている個人 ・助成期間内に、本申請に関する研究で他から年間1,000万円以上の助成金・研究費を受けることが確定している場合は除く。 ②・助成開始時に日本の研究機関に所属し、前項に掲げた研究を行う個人 ・2021年4月1日現在、満35才以下の者 ・助成期間内に、他からの助成金・研究費を受けることを可とする。 ③微生物の分類に関する研究を推進するための研究部会等を設置し活動を行う団体 申請は学会単位とする。 申請内容を説明できる代表者が申請者となる。 ④日本の国立大学、公立大学、私立大学のいずれかに属する部局(研究科、学部または研究所) ⑤【対象1】微生物に関する研究を行う目的で来日する外国人研究者 【対象2】微生物に関する学会での発表を目的として来日する外国人研究者 【対象3】微生物に関する研究を行う目的で外国へ留学する日本人研究者 いずれも2020年7月～2021年2月までの間に開始する者とする。	①【一般】 300万円(一括払い) 【大型】 1,000万円(一括払い) ②300万円(一括払い) 研究費および生活費として支給する。 ※申請者の所属機関の間接経費、一般管理費(オーバーヘッド)は、助成の対象としない。 ③500万円(一括払い) ④2億円(一括払い) 原則として間接経費は認めない。 ⑤【対象1】最高25万円/月 【対象2】1名あたり20万円を限度。 【対象3】対象1に同じ 渡航費は、別途、支給しない。 他から助成金を受けることも可とする。	①②③ 2021年4月～2023年3月(2年) ④2021年10月～2027年3月(5.5年) ⑤【対象1,3】1年以内 【対象2】記載なし
3月17日	2020年4月28日(火)正午必着	郵送	公益財団法人伊藤記念財団 令和2年度(2020年度)研究助成	公益財団法人伊藤記念財団 〒153-8587 東京都目黒区三田一丁目6番21号アルト伊藤ビル TEL:03-5720-8611 FAX:03-5720-8612 e-mail:office@itokinenzaidan.or.jp https://www.itokinenzaidan.or.jp/	対象とする研究又は調査の内容 「食肉に関する研究又は調査(品質・製造加工技術、食的安全性、食品安全、遺伝育種、繁殖、動物衛生、家畜飼養・飼料など)」とする。	助成の対象者助成の対象者は、左欄に掲げる研究又は調査を行う大学等の研究機関に所属する者とする。	助成金額1件当たりの助成金額は、概ね50万円以上200万円の範囲とする。	令和3年(2021年)4月16日(金)までに助成研究調査成果報告書及び助成金の使途についての収支報告書を提出が必要。
3月17日	2020年5月15日必着	郵送	公益財団法人山崎香辛料振興財団 令和2年度研究助成	〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-3-2公益財団法人山崎香辛料振興財団 TEL 03-6810-3600 FAX 03-3537-2126 E-mail:mitsuru_ito@sbfoods.co.jp URL:http://yamazakispice-promotionfdn.jp	助成の対象となる研究範囲 助成の対象となる研究の範囲は、香辛料の基礎的研究並びに香辛料の原材料や応用などの関連分野に関する研究とします。具体的には、下記の①～⑧テーマに関する研究とする。 ① 香辛料の成分研究 ② 香辛料摂取による生活習慣病予防もしくは老化抑制に関する研究領域 ③ 香辛料摂取による運動機能の維持・向上(ロコモティブシンドローム予防等)に関する研究領域 ④ 複数の香辛料による生理機能の相乗効果に関する研究領域 ⑤ 香辛料の香りによる癒し効果に関する研究領域 ⑥ 香辛料に関する栽培・育種部門、加工・応用部門の研究領域 ⑦ 香辛料に関する社会科学分野の研究領域 ⑧ その他、助成の趣旨に照らして必要と認められる事項に係る研究領域	原則として、左欄に掲げる研究を行う日本国内の国公立大学、公的研究機関に所属するグループ又は単独(個人)とする。	助成額は、1件当たり1年最大100万円とし、複数年継続助成の場合は2年間合計で最大200万円、3年間合計で最大300万円を基準とします。なお、申請された研究計画に基づき毎年9月30日までに適切に使用すること。	助成年数により ①令和2年10月1日から令和3年9月30日の1年間 ②令和4年9月30日までの2年間 ③令和5年9月30日までの3年間
3月17日	2020年5月31日当日消印有効	郵送	公益財団法人黒住医学研究振興財団 2020年度研究助成	申請書類の提出先 〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内 公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛 (お問い合わせ先)公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局E-Mailアドレス: info@kmf.or.jp TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514 URL http://www.kmf.or.jp/activity/guide/research.html	研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成(原則として50歳以下)を主眼とする。 対象領域 ①臨床化学 ②分子生物学(医学) ③臨床微生物学 ④臨床免疫学 ⑤検査血液学 ⑥人体病理学 ⑦疫学* *臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究 ⑧一般・生理学の、八つの領域とする。	医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とする。ただし、大学教授及び国公立研究機関等の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除く。	1件100万円を限度とし、15件以上とする。	原則として1年間、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書の提出が必要。

2020/3 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
3月17日	2020年5月7日 (木) 当日消印有効	郵送	公益信託富士フィルム・グリーンファンド 2020年度助成	〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7 (一財)自然環境研究センター内 公益信託富士フィルム・グリーン ファンド事務局 TEL 03-6659-6310 FAX 03-6659-6320 (平日10~17時) http://www.jwrc.or.jp/service/shintaku/fgf.htm	①営利を目的としない活動及び研究 ②活動及び研究が行われるフィールドは、日本国内である ③活動助成の場合には、活動フィールドができる限り申請者(申請団体)によって既に確保されている等、活動フィールドの基盤がしっかりしているもの ④研究助成の場合には、フィールドでの研究に対し地権者の許可もしくは協力関係が保たれているもの ⑤個人もしくは団体申請において、活動及び研究の実績があるもの(ある程度実績があり、発展的な活動や研究を行うための申請であれば対象となる) ⑥個人による申請の場合、助成金の使途が助成の趣旨に沿って適格・厳正であり、助成金の使途において本人あるいは親族等、特別な関係のある者に利益を与えないもの ⑦団体による申請の場合、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他の機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が特定の者、あるいは特別な関係者等の意志に従わずに、決定・運営されている団体。また、特定の者等に特別な利益を与えていない団体 ⑧科学研究費による研究が好ましいと思われる研究は、助成対象としない。 ⑨過去に当ファンドの助成を受けた個人・団体は助成対象としない。	①活動助成を申請するものは、身近な自然の保全や自然とのふれあいを積極的に行っていること ②研究助成を申請するものは、身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること	8件程度、総額850万円を予定(1件の上限はないが、申請内容や助成金の使途を踏まえて査定した上で最終的な助成金を決定する)	原則として助成金贈呈日より1年とするが、活動及び研究の内容によって助成金を2年に渡って利用することも可能。
2月26日	2020年4月10日 (金)必着	郵送及びE-mail	国立民族学博物館 2020年度大学共同 利用機関法人人間文化研究機構 国立民族学博物館共同研究計画の公募	国立民族学博物館 管理部研究 協力課 共同利用係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番 1号 TEL 06-6878-8361, 8364 FAX 06-6878-8479 E-mail: kvodo@minpaku.ac.jp http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/iurp/offer	●共同研究(一般) カテゴリー1:新領域開拓型 文化人類学・民族学及び関連諸分野を含む幅広いテーマを対象とし、挑戦的で、新領域開拓につながる研究。基礎的研究や萌芽的研究、地域を設定した特有の課題に関する研究も含む。 カテゴリー2:学術資料共同利用型 本館の所蔵する資料(標本資料, 文献資料, 映像音響資料等)に関する研究。広い意味で展示につながる共同研究も含む。 ●共同研究(若手) カテゴリー1:新領域開拓型 文化人類学・民族学及び関連諸分野を含む幅広いテーマを対象とし、挑戦的で、新領域開拓につながる研究。基礎的研究や萌芽的研究、地域を設定した特有の課題に関する研究も含む。 カテゴリー2:学術資料共同利用型 本館の所蔵する資料(標本資料, 文献資料, 映像音響資料等)に関する研究。広い意味で展示につながる共同研究も含む。 ※申請にあたっては、共同研究(一般)と共同研究(若手)のどちらかを選択して申請してください。重複申請することはできません。	●共同研究(一般): 研究代表者が、代表して応募することとします。研究代表者は、大学その他の研究機関の常勤の教授、准教授、講師、助教、助手、または、これと同等の研究能力があると館長が認めた者(ただし、本館以外人間文化研究機構内の機関に専任教員として所属する者を除く。)です。長期海外出張等により実質上共同研究会の運営ができないことが見込まれる場合は、応募できません。申請者が過去に共同研究の代表者であった場合には、研究成果が公開されていること(出版の場合は出版社の企画会議等を通じている段階を含む。)を、申請の条件とします。 ●共同研究(若手) 研究代表者が、代表して応募することとします。研究代表者は、申請時39歳以下の研究者で、共同研究を滞りなく遂行する能力をもつものとします。研究代表者以外の共同研究構成員の条件については、特に定めませんが、その趣旨に添い、基本的には研究代表者と同様の年齢層の若手研究者等で構成されるものとします。長期海外出張等により実質上共同研究会の運営ができないことが見込まれる場合は、応募できません。また、本館以外人間文化研究機構内の機関に専任教員として所属する者は応募することはできません。一度、本館の共同研究(若手)に採択され実施した者は、再度、共同研究(若手)に応募できません。なお、共同研究(一般)と重複申請することはできません。	●共同研究(一般): 当該年度につき6~8件程度とします。 ●共同研究(若手) 当該年度につき2件程度とし、1件について年額100万円を上限(ただし、初年度は年額の半分程度)とします。	初年度を10月スタートとし、研究成果の公開準備を含む2年半とします。延長は認められません。
2月26日	2020年4月30日 (木)必着	郵送	公益財団法人ひと・健康・未来研究財団 2020年度 研究助成 の公募	公益財団法人ひと・健康・未来研究財団 〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下ル虎 屋町566-1 井門明治安田生命ビル6F TEL・FAX 075-212-1854 E-mail: hitokenkoumirai@jnhf.or.jp http://www.jnhf.or.jp/subsidy_1.html	●研究助成の趣旨 当財団の目的である、「ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するために、健全な食生活と予防医学に重点をおいた研究、さらに自然との共生を基本に、こころの健康をめざした研究を振興し、もって国民の健康増進と生活の質の向上に寄与する」ことをめざす研究に対する助成をおこないます。 ●公募テーマ 食品、環境、医学、福祉の研究のうち上記の目的にかなうテーマ	日本国内において左記テーマに関する研究を行う人	1件につき20万円~100万円(助成金総額は1,500万円を予定)	2020年9月~2021年8月までの1年間(研究期間は原則1年間とします)

2020/3 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2月6日	登録締切:2020年3月19日(木) 応募締切:2020年3月30日(月)	Web申請	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 2021年度HFSP研究 グラント募集について	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 国際事業部 国際連携研究課 TEL:03-6870-2215 E-mail:amed-hfsp@amed.go.jp https://www.amed.go.jp/program/ist/03/01/010_fellowmessage_000_01.html	国際協同研究チームへの研究費の助成 異なる専門知識を組み合わせた革新的アプローチによって、単一の研究室では解明することのできなかった基礎生物学上の問題に取り組むことを目指す科学者の国際共同研究に対して助成されます。 特に、生物科学の問題に焦点を当て、異なる研究分野(例えば化学、物理学、コンピューターサイエンス、工学など)の研究者を組み合わせた新たな共同研究に重点を置きます。 新たな、価値あるアイデアや革新的なアプローチを促進するため、予備的なデータは必ずしも応募に必要ではありません。	2ヶ国以上の研究者、原則として1ヶ国1名、合計2~4名からなる国際共同研究チームを対象とします。ただし、研究代表者はHFSPの加盟国の研究者に限られます。 プログラムグラント 独立した研究者のチームに与えられ、研究者のキャリア段階は問いません。また、若手の独立した研究者の参加を奨励しています。 若手研究グラント メンバー全員が独立した研究室を与えられて5年以内の研究者。(准教授、講師、助教またはそれに同等の研究者。)	3年間で1チームあたり最大135万円	3年間
2月6日	2020年3月27日(金)10時~2020年3月31日(火)17時 ※2020年3月9日(月)10時~3月13日(金)17時まで提出書類のアップロードの希望申請を行う	Web申請	文部科学省高等教育局 令和2年度「卓越大学院プログラム」の公募について	文部科学省高等教育局大学振興課 大学改革推進室 (卓越大学院プログラム担当) 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL:03-5253-4111(内線3357) E-mail:wise@mext.go.jp http://www.mext.go.jp/a_menu/ko/utou/kaikaku/taketudagakuin/in/dex.htm ※公募説明会について 日時:令和2年2月19日(水)13:30~ 場所:「旧庁舎6階第2講堂」(文部科学省内) 東京都千代田区霞が関3-2-2文部科学省旧庁舎6階	●対象となるプログラム 博士課程を設置する我が国の国公立大学(学校教育法第2条第2項に規定する国立学校、公立学校及び私立学校(学校法人が設置する大学に限る。)である大学)が、新たな知の創造と活用を主導し、次代を牽引する価値を創造するとともに、社会的課題の解決に挑戦して社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材、すなわち高度な「知のプロフェッショナル」を育成するために、養成すべき人材像(どのような分野で活躍し、いかなる価値を創造して人類社会の課題解決を牽引する人材を育成するか)を明確に設定し、博士課程前期・後期一貫した質の保証された学位プログラム(一貫制博士課程及び医学・歯学・薬学(基礎となる学部が6年制のものに限る。))・獣医学分野の4年制博士課程を含む。)を構築・展開するプログラムを対象とする。 なお、本事業は、我が国をリードする大学院改革事業として、各大学において検討される各大学院の特色・強みを生かした独自の構想づくりに期待しており、それぞれの自由な発想を生かした提案が求められるものである。	以下のいずれかに該当する大学は、申請できない。代表校のみならず、連携してプログラムを実施する他の大学も対象。 (組織運営関係) i) 学生募集停止中の大学 ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学iii) 次に掲げる表において、上段の区分の令和2年度のものを含む直近の修業年限期間中、連続して下段の収容定員充足率を満たしていない大学 収容定員充足率:70%(学士課程(全学部)) iv) 「私立学校等経常費補助金」において定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学 v) 令和元年度に実施した再推費における事業の事後評価において、「事業目的が達成できなかった」等の最も低い評価を受けた大学(対象事業は別添のとおり。) vi) 令和元年度に実施した再推費における事業の中間評価において、「中止することが必要」等の最も低い評価を受けた大学(対象事業は別添のとおり。) (設置関係) vii) 設置履行状況等調査において、「警告」(平成29年度まで)または「指摘事項(法令違反)」(平成30年度から)が付されている大学 viii) 大学、大学院、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準(平成15年文部科学省告示第45号)第2条第1号若しくは第2号のいずれかに該当する者が設置する大学 ix) 次の表に掲げる平成29年度から令和2年度の平均入学定員超過率及び令和2年度の入学定員超過率の基準を満たしていない学部を設置している大学(詳細は要項を確認)	初年度上限:補助金額の上限を4億2千3百万円として申請書類を作成すること。 (令和2年度は、以下の金額を申請の上限額とする。)	補助期間:7年間 ※4年度目の評価において個人プログラムの評価に加え、事業全体としての評価も行い、8年度目以降の取扱いについて検討する。ただし、国の財政状況等により7年間を必ず保証するものではない。
1月24日	2020年4月10日(金)必着	郵送	公益財団法人 大川情報通信基金 2020年度(第34回)研究助成の公募	公益財団法人 大川情報通信基金 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-8-2山京半蔵門パレス301 TEL:03-3556-6028 E-mail:okawa-foundation@nifty.com http://www.okawa-foundation.or.jp/	情報通信分野において、独創性のある、先進的または社会的に有用な調査・研究 【分野】 1.基礎:情報・通信に関する基礎的な調査・研究 2.通信・インターネット:情報通信網・通信技術等に関する調査・研究 3.コンピュータシステム:情報システム・コンピュータ科学等に関する調査・研究 4.人工知能:知識処理、認知科学等に関する調査・研究 5.バイオ:バイオ技術に関連する研究のうち主に情報・通信に関連する調査・研究 6.応用(A):主に情報・通信に関する工学的な応用調査・研究 7.応用(B):医療、福祉、教育、芸術等における情報・通信技術の適用に関する応用調査・研究 8.人文・社会科学:情報・通信、メディア等の社会への普及、影響等に関する調査・研究	日本国内の情報・通信分野に関連する研究機関、教育機関に所属する研究者 ※海外の研究機関、教育機関に所属する研究者に対する研究助成については、財団が指定する機関による推薦を必要とします。	1件あたり100万円	原則として1年間(研究助成贈呈式から翌年の研究成果報告会まで)

2020/3 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**

②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**

③詳細はメール添付の「2019/4/17付け『各種財団等の研究助成金』に関する手続について(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
1月24日	2020年4月10日 (金)必着	電子推薦	独立行政法人日本学術振興会 国際生物学賞委員会 第36回国際生物学賞 受賞候補者の推薦に ついて	独立行政法人日本学術振興会 国際生物学賞委員会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-1 TEL:03-3263-1872/1869 E-mail: ip-biology@jsps.go.jp https://www.jsps.go.jp/j-biol/nomination.html	趣旨: 昭和天皇の御存位60年と長年にわたる生物学の御研究を記念するとともに、本賞の発展に寄与されている上皇陛下の長年にわたる魚類分類学(ハゼ類)の御研究を併せて記念し、生物学の奨励を目的とした賞。 授賞分野: 「環境応答の生物学(Biology of Environmental Responses)」	受賞者: 生物学の研究において優れた業績を挙げ、世界の学術の進歩に大きな貢献をした研究者。(原則として毎年1名) 選考 国際生物学賞委員会が毎年度選定する分野における研究者について、内外の関係学術機関・団体及び有識者からの推薦に基づき、国際生物学賞委員会の審査委員会が審査選考し、国際生物学賞委員会で決定する。	受賞者には、国際生物学賞(賞状、賞牌及び賞金1,000万円)を授与する。また、授賞式にあわせて国際生物学賞記念シンポジウム及び受賞者講演会が開催される。	—
1月24日	2020年4月20日 (月)	Web申請	一般財団法人バイオインダストリー協会 第4回「バイオインダストリー大賞」「バイオインダストリー奨励賞」の募集	一般財団法人バイオインダストリー協会 広報部 大賞・奨励賞事務局 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-26-9 グランデビル8F TEL:03-5541-2731 E-mail: award2020@iba.or.jp https://www.iba.or.jp/jba/osirase/1164.php	バイオインダストリー大賞: バイオサイエンス、バイオテクノロジーおよびバイオインダストリー分野における自然科学および人文・社会科学分野の研究・技術開発および産業化推進活動で、バイオインダストリーの健全な発展に大きな貢献をなした、または今後の発展に大きな貢献をなすと期待される業績。 バイオインダストリー奨励賞: バイオサイエンス、バイオテクノロジーに関連する応用を指向した研究。応用分野は、A:医薬・ヘルスケア、B:食品・第一次産業、C:化学・材料・環境・エネルギー。	バイオインダストリー大賞: 個人、企業、少人数の組織・グループ。年齢および所属は問わない。 バイオインダストリー奨励賞: 対象事業の分野に携わる有望な若手研究者で、次の全ての要件に該当することを条件とする。 1) 大学・公的研究機関・非営利の社団法人・財団法人の研究者。個人での応募とする。 2) 2020年4月1日において45歳未満の者。 3) 本賞授与の時点で当協会の個人会員であること。	バイオインダストリー大賞: 当協会会長名の賞状・賞牌および副賞300万円を授与します。 バイオインダストリー奨励賞: 当協会会長名の賞状および副賞30万円を授与します。	表彰式・受賞講演会: 2020年10月 (BioJapan 2020 会場にて実施予定)
10月28日	(1)重点共同利用研究、(2)モデル生物・技術開発共同利用研究、(7)生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究を除く公募事項は、 2020年4月1日から10月末日まで 申請を随時受け付けますが、審査期間として概ね1カ月程度を要しますので、ご了承願います。	Web申請	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 基礎生物学研究所 2020年度基礎生物学研究所共同利用研究の公募	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部 国際研究協力課 共同利用係 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38 電話: (0564) 55-7133 (ダイヤルイン) E-mail: r7133@orion.ac.jp http://www.nibb.ac.jp/collabo/inverte/2020.html	(1) 重点共同利用研究 ※1 (2) モデル生物・技術開発共同利用研究 ※1 (3) 個別共同利用研究 (4) 統合ゲノミクス共同利用研究 (5) 統合イメージング共同利用研究 (6) 大型スペクトログラフ共同利用実験 (7) 生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究 ※1 (8) 研究会 (9) トレーニングコース ※1 受付期間について (1)重点共同利用研究、(2)モデル生物・技術開発共同利用研究、(7)生物遺伝資源新規保存技術開発共同利用研究を除く公募事項は、2020年4月1日から10月末日まで申請を随時受け付けますが、審査期間として概ね1カ月程度を要しますので、ご了承願います。	(1)大学及び公的研究機関に所属する常勤の研究者 (2)大学及び公的研究機関に所属する非常勤の研究者のうち、以下の①、②のいずれかに該当する者。 ①e-Radに「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている研究者。 ②研究活動を行うことを職務として大学又は公的研究機関に所属し、実際に研究活動に従事している研究者(大学院生は除く)。 (3)基礎生物学研究所長が十分な研究能力を有すると認められた者 また、分担者として、(1)から(3)に該当する研究者に加えて、大学院生、学部学生、技術職員等も参加することが可能です。	対象事業によって異なるため、公募要項にてご確認ください。	対象事業によって異なるため、公募要項にてご確認ください。